

深浦小学校5年生、実りの秋の収穫体験！

バケツ稲の稲刈り (9/21)

深浦小学校において、5年生25人が育てたバケツ稲の収穫作業が行われました。

町職員から稲の刈り方について注意点を教わったあと、稲刈り用の鎌で丁寧に刈り取りを行いました。麻ひもで稲を束ねてから柵にかけ、鳥よけの網を張ってから、天日干しにしました。

児童たちは「鳥に食べられないように工夫するのが大変だった」「稲の花を見られてラッキーだった」「稲の刈り方が思っていたより難しい」など、貴重な体験をすることができたようでした。

このあと稲を10日前後乾燥させ、脱穀、精米の後、家庭科の授業で美味しくいただく予定です。



農家さんの田んぼで稲刈り (9/28)

舂作国道沿いの村上哲也さんの田んぼを借りて、深浦小学校5年生が2週連続で稲刈りを行い、21日に実施したバケツ稲の稲刈り体験の成果を発揮していました。児童たちは慣れた手つきで稲を素早く刈っていき、稲穂でいっぱい稲の束を抱えて満面の笑み。

また、この日は天候に恵まれ、汗をかきながらの作業。収穫の楽しさや、農家さんの仕事の大変さを学んだようでした。



2年ぶりの朝野球！優勝はコンバット！

第55回青森県朝野球選手権大会の深浦支部予選（ナイターリーグ）は、6月初旬から7月中旬の約2か月間（毎週月・金曜）にわたり、参加4チームによって熱戦が繰り広げられました。昨年はコロナ感染症対策の影響で大会自体が中止。今年も開催が危ぶまれましたが、各試合ごとに検温や体調確認など選手相互にコロナ感染症対策ルールを徹底しながら2年ぶりの“八森山劇場”が行われ、対戦6試合で5勝1敗の成績を収めた古豪「コンバット」チームが優勝、県大会への出場切符を手に入れました。

しかしながら、9月中旬に予定されていた県大会（主会場：五所川原ほか）の開催は他地域の緊急事態宣言等や、県のコロナ対策独自宣言等によりあいにく中止となりました。

コンバットの岩谷拳悟主将（岩崎下・27歳）は「県大会の中止は本当に残念でしたが、町内での試合が開催されたことに感謝。チームとしては13年ぶりに優勝し、古豪復活を果たすことができました。来年も優勝して“古豪から強豪”へ進化したいと思っています。（2年ぶりの野球は）とにかく楽しかったですね」と笑顔で話しました。

チームを優勝へ導いた日沼拓也監督（岩崎上・43歳）は、「コロナ禍で、正直なところモチベーションも上がらない状態の中、予選大会（ナイターリーグ）が開催できたのは、大会関係者はもちろん、医療従事者の方々や感染対策を徹底して行ってきた選手、相手チームの皆さんのおかげ。本当に久しぶりで楽しく野球ができました」とプレーできた喜びをあらためて噛みしめていました。



地区優勝を果たした「コンバット」チーム。下段左から3人目が岩谷主将、4人目が日沼監督。

まちかど

ウォッチング

みなさんの身近な話題・行事・出来事などの情報をお寄せ下さい。
 深浦町総合戦略課 企画調整係
 電話 74-2122

高校生の目線でCMづくり 9/6

恒例となっている青森朝日放送の「ふるさと自慢わがまちCM大賞」への出品作品を、木造高校深浦校舎2年生の有志が企画・制作することとなり、春から町観光課と打合せを重ねてきました。

同校は、入学者数の減少で今年度から募集停止となり、現在の2年生が卒業する令和5年3月をもって閉校となります。このことから、町はCM制作を通して企画力・実行力を養うとともに、高校時代の良き思い出づくりにしてもらいたいと、この制作を打診したところ、有志6人が名乗りを上げました。

この日は、生徒自身が設定した「深浦町の豊富な食材」をテーマに、奇想天外なアイデアで撮影が行われました。審査発表会は11月下旬、放送は12月下旬に行われる予定です。



食材を手に北金ヶ沢漁港で撮影

鈴木さん、100歳を迎える 9/13

鈴木フクノさんは1921年（大正10）年、秋田県八峰町岩館生まれ。夫の友三郎さんと結婚し子ども8人、孫15人、ひ孫20人に恵まれました。鈴木さんは、結婚後は農業の傍ら山菜採りをしながら生計を立て、8人の子育てをしていました。食べ物の好き嫌いもなく、畑仕事など外に出て体を動かすことが長生きをする秘訣だそうです。今は毎日新聞を読み、月1回の通院の際に一緒になる方々に会えることが楽しみになっているそうです。



この日100歳を迎えた鈴木さんは、子どもたちに囲まれ、とても嬉しそうな顔をしていました。

青森県健康づくり事業功労者等表彰 受賞！ 9/15

深浦町生活改善推進員会（大高範子会長、会員数34人）が、多年にわたり町民の健康づくりに貢献した実績が認められ、青森県健康づくり事業功労者等表彰を受賞しました。

同会では、健診時に減塩みそ汁を提供し減塩への意識付けをしたり、乳幼児健診での離乳食・おやつ提供、地区米養教室の実施などあらゆる年代に対して、減塩や野菜摂取の増加等良い食習慣の定着を促進するための活動を展開してきました。

今回は、新型コロナウイルス感染症予防のため表彰式が中止となり、9月15日に会長、副会長2人の出席で町長から表彰状が伝達されました。



大切な御縁をいただいたお客様に ~ありがとう~ と言われる仕事を心掛けています。

厚生労働省認定
1級葬祭ディレクター在籍店

家族葬から一般葬・社葬までご予算に応じた御葬儀を提案・施工いたします。

霊安室（兼 家族葬スペース）完備

病院・施設等からの搬送は安心の緑ナンバー車で！
 「一般貨物自動車運送事業（霊柩）第497号」
365日・24時間受け付けております。

株式会社 **深浦葬祭**
 Fukaura Funeral Service

電話 **(74)4536** FAX: 74-4546

募集 従業員